

序 文

産業構造の変化、ME化をはじめとする技術革新等により在職者の職業能力開発ニーズが高まる中で、公共職業訓練の行う向上訓練の一層の拡大発展が求められている。過去十数年の間、向上訓練はめざましい発展を遂げてきたが、現実の社会的要請はさらに大きく、それに応えていくためには、企業現場の能力開発ニーズを深くとらえた新コースの設定や向上訓練コースの体系的整備が不可欠となっている。平成元年度、再編整備によって発足した職業訓練研修研究センターの開発研究部では、職業訓練現場の実践を支援する研究、指導員研修に生かす研究の一環として、職業訓練研究センター時代から行ってきた「実践的臨床的研究」を引き継いで、現場施設とのプロジェクト研究開発を行っている。向上訓練コース開発、とりわけME化された生産現場の能力開発ニーズに応える新コース開発は、このプロジェクト研究テーマのひとつの大きな柱である。

「ME化時代の現場ニーズに応える向上訓練コース開発プロジェクト」は、松本技能開発センターとの共同により昭和62年度に発足し、上記のテーマによって、「NC機作業者のための切削加工技術」という向上訓練コースを開発した。地域でのコースの評価は非常に高く、昭和63年秋の第1回実施以後、プロジェクトはこのコースの全国的普及のための準備にかかった。それは、コースの改善と共に、コースで使用する教材やコースの進め方に関する指導員用マニュアルを整備し、ひとつのパッケージにとりまとめる作業である。このコースパッケージによって、このコースを開設しようとする訓練施設での労力は大幅に軽減される。本報告書は、「NC機作業者のための切削加工技術」コースのパッケージ化に向けたプロジェクト作業の報告である。パッケージそのものは追って公表されるが、この報告書によって、同コースの開発意図や企業におけるニーズを深く知ることができるとともに、開発意図に照らしてコースがどのように改善されてきたかをも知ることができる。向上訓練の発展を担う人々のご検討に委ね、ご批判を仰ぐことによって、今後の研究開発の糧としたい。各方面からの率直なご意見、ご感想を心からお願い致したい。

3年にわたるプロジェクト研究にご協力いただいた松本技能開発センターの、所長以下職員の方々に改めて厚くお礼を申し上げる。

平成2年3月

職業訓練研修研究センター

所長 志賀 武彦

プロジェクトメンバー

松本技能開発センター

御子柴庚一（指導員）

杉本 令而（指導員）

佐々木 修（指導員）

職業訓練大学校

指導科

田中 萬年（助教授）

職業訓練研修研究センター

坂本 政久（第3開発研究室室長）

高田 芳紀（第4開発研究室室員）

小原 哲郎（第2開発研究室室員）

調査研究報告書 第54号

「NC機作業者のための切削加工技術」
コースのパッケージ化

発行 1990年3月
発行者 雇用促進事業団 職業訓練大学校
職業訓練研修研究センター
所長 志賀武彦
〒229 神奈川県相模原市相原1960
電話 0427 (61) 9911 (代)

印刷 (株)相模プリント
神奈川県相模原市橋本1-14-17
電話 0427 (72) 1275